



コアファシリティ機構 研究者・研究教育支援人材向け研修 開催日程（2025年度）



講習受講は一部を除いて無料です

詳細はコアファシリティ機構の HP をご覧ください www.corefc.osaka-u.ac.jp

開催の1-2ヶ月前に部局通知を行いますので、部局事務を通して受講申込をしてください

研究・教育支援人材向け人材研修（全て参加費無料です）

開催日	研修の名称	概要
① 8/20(水) 8/21(木)	研究・教育支援人材向け 自己開発研修プログラム	自らの価値観や大切にしている事柄（心のスイッチ）がどこにあるのかに気づき、その“心のスイッチ”を上手に活かせるようになることで、より仕事（業務）を愉しみ、人生をより豊かにし、また、それらが仕事や人生において良い循環を生んでいけるようになる（2日間）。 詳細（参考 R6 年度）
② 8/29(金)	チームマネジメント研修①（基礎編） 専門家チームに良き影響を与えるチームマネージャーへの第一歩	主体性と専門性が非常に高い技術支援部門・専門家チームを纏めるチームマネージャー、今後チームマネージャーとなる方々を対象に、「専門家チームや技術部門をメンバーに良き影響を与え、また、チームとしての良いパフォーマンスを引き出せるチームマネージャーになる」を目指します。 詳細（参考 R6 年度）
③ 9/10(水) 9/17(水)	女性研究・教育支援人材向け研修 キャリアデザイン研修プログラム	本学の研究・教育を支える“女性”支援人材が、様々なライフイベントに出くわしながらも、バランスを保ち、やりがいや愉みを感じ、継続して働いていくために参考となる「考え方や心構え」を学び、その実現に向けた実践アプローチを学んでいきます（2日間）。女性限定です。 詳細（参考 R6 年度）
④ 9/30(火)	チームマネジメント研修②（発展編） 組織の要となるマネージャーへのステップアップ	研究・教育支援を行う専門家チームや技術支援部門等のマネージャーを対象として、組織の上下左右（上：上司、下：チームメンバー、左右：ステークホルダー）に対して良き影響を与え、「組織の要となるマネージャーへのステップアップ」を目的に、その基礎概念や取組方法を、座学・実習を通して学びます。 詳細（参考 R6 年度）
⑤ 11/5(水) 11/6(木)	研究・教育支援人材向け レジリエンス・フォロワーシップ研修 レジリエンス 上司への上手な働き掛け しなやかさとフォロワーシップを身につけて組織・チームの要へと成長しよう	プレッシャーや重い責任に晒される自分自身を手懐け、難しさや困難をしなやかに乗り越え・回復する力（レジリエンス）を身につけること、チームのメンバーや部門を統括する上司に“上手く”働き掛け、チームや組織全体のパフォーマンス向上に寄与すること（フォロワーシップ）を、座学・グループワークを通して学びます（2日間）。旧女性研究・教育支援人材向け研修（発展編）です。今年度から男女問わず受講頂けます。 詳細（参考 R6 年度）
⑥ 11/27(木)	チームマネジメント研修③（実践編） アクションラーニングによるチーム学習を通して、チームでの問題解決力やチームビルディング・チームワークに関する実践力を高めよう	チームでの問題解決力、チームマネジメント・チームビルディングに関する実践力を高めることを目的に、アクションラーニングの手法を取り入れたチーム討論形式での研修。4-6 人のメンバーにコーチ担当の講師を加えたチームをつくり、取り上げた問題に対してチームごとに質問・議論を繰り返すなかで、メンバーの気付きを深め、またチームでの共感を高めていく。 詳細（参考 R6 年度）
⑦ TBA 開催予定	研究データに関わる研究・教育支援人材向け Python 活用基礎研修	本研修では、研究・教育支援現場で広く活用されるプログラミング言語である Python を使った基礎的なプログラミング技術を、オンライン実習（90 分×4 回）を通して学びます。 令和 5 年度に開催（詳細） 6 年度は未開催

問合せ先：inquiry_corefcl@reno.osaka-u.ac.jp 内線：豊中 6050（古谷）、吹田 4816（唐牛^{からうじ}）

分析技術 関連

7/17 8/21 9/18 10/16 11/20 12/18 ⑧	オンライン講習会（2h x 6回） 「基礎から学ぶ無機元素分析」 学内の方は無料・学外の方は有料	無機元素分析の初歩的な基礎知識から ICP-OES を使った分析の実践的な知識まで、この道 30 年のプロフェッショナルな講師が全 6 回の講義で丁寧に解説します。これから無機元素分析を始めたい方、普段の分析業務でお困りのことがある方はぜひご参加ください。 （詳細）開催中
--	--	--

ものづくり・工作技術 関連（技術講習会は材料費等の負担が必要です）

第 1 回 9/1-9/19 ⑨ 第 2 回 2~3 月 (2026 年)	4 年生/大学院生・研究者・教職員向け 機械工作・ガラス工作 技術講習会 (FD 研修¹⁾：研究・教育のための工作技術講習会)	教育・研究活動に必要な、機械工作・ガラス工作技術を集約的に習得できる講習会。機械工作（4 日間）、ガラス工作基礎編（2 日間）・アドバンス編（2 日間）のコースがあります。これらコースは、材料費等の負担が必要です。第 1 回の申込み切は 8 月 6 日です。 詳細（令和 7 年度第 1 回目）
⑩ 毎月開催	4 年生/大学院生・研究者・教職員向け 3D-CAD (Fusion360) 入門講習会 (FD 研修¹⁾：研究・教育のための工作技術講習会) (無料・電子メールで申込み)	教育・研究活動に必要な、機械工作・ガラス工作技術を代表的な 3D モデリング（3D-CAD/CAM）ソフトウェアである Autodesk 社の Fusion360 を用いて、3D プリンターや 3 次元加工機による造形・パーツ製作に必要な、3 次元設計図面の作り方の基本について、実際に各自の PC を使いながら実習します（無料）。所要時間 約 3 時間 詳細（令和 7 年度）

問合せ先：inquiry_corefcl@reno.osaka-u.ac.jp 内線：豊中 6050（古谷）、吹田 4816（^{からうじ}唐牛）

大阪大学コアファシリティ機構

www.corefc.osaka-u.ac.jp

科学機器リノベーション・工作支援センターと低温センターを統合し、またコアファシリティ推進室の機能も取り込み、研究担当理事の下に全学的な研究基盤や研究支援体制の整備・強化を担う組織として、令和 5 年 4 月にコアファシリティ機構として発足しました。

①共創利用支援部門（全学機器共用）、②工作支援部門、③低温科学支援部門（旧低温センター）、④データ利活用・研究 DX 化支援部門、⑤研究基盤人材育成部門の 5 つの部門から成ります。

詳細は機構 HP をご覧ください。



Core Facility Center
The University of Osaka

1) FD 研修（ファカルティ・ベロップメント研修）

本学へ新規採用となった講師・助教等の教員が、全学及び各部局が実施する教育、研究、社会学連携及びマネジメント能力に関する研修を、採用後 3 年間で 30 時間受講するもの。

https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_program/